

雲仙市の雲仙温泉街にあるホテル、雲仙富貴屋が、本年度の「日本ヘルスツーリズム大賞」の奨励賞を県内で初めて受賞した。3年前から続けている「まち歩き」と「健康」を融合させた取り組みが評価されたという。百聞は一見にしかず、ということ、朝のガイドウォークに同行した。

## 雲仙富貴屋

午前6時半、辺りはまだ薄暗い。前日までの寒波の影響で同温泉街はまだ雪化粧。ホテルロビーに到着、集合まで30分あるので、もう一度資料に目を通す。

ヘルスツーリズムとは、旅先で宿泊者が健康増進や疾病予防に取り組み旅行形態を指す。NPO法人「日本ヘルスツーリズム振興機構」(東京)は2008年度から全国の自治体や施設、個人など優れた取り組みを毎年表彰している。

午前7時、資料から目を上げると、いつの間にかロビーには人だかり。この日は関東からのツアー客を中心に約20人が参加。玄関前に移動し、ラジオ体操で体を温める。

## 日本ヘルスツーリズム大賞奨励賞

# 朝食前 ぜいたくな散歩

同ホテル内の整骨院で働く柔道整復師の佐々木隆美さん(30)が「腕は肩から大きく振ると血行が良くなり、肩こり予防にもなります」などと正しい歩き方を指導する。体をほぐし、いざ出発。ガイド役は同ホテルお

同ホテル内の整骨院で働く柔道整復師の佐々木隆美さん(30)。まず訪れたのは満明寺。首を落とされ、美さん(30)が「腕は肩から大きく振ると血行が良くなり、肩こり予防にもなります」などと正しい歩き方を指導する。体をほぐし、いざ出発。ガイド役は同ホテルお

## 3年間で参加6000人超



満明寺で寺の歴史などについて説明する橋本さん(右)＝雲仙市

の皮がむけるほどなでてきた。

雪が残る原生沼を抜けて遊歩道に入り、旧八万地獄へ到着。体は温まったが気温はマイナス1度、指先はかじかんでいる。そこへ橋本さんが「地面を触ってみてください」。参加者と一緒に手を付けると「わあ」「温かい」、地熱初体験の参



「温かい」。地熱を体感する参加者＝雲仙市、旧八万地獄

加者から歓声上がる。じんわりくる天然の温かみに、心もほぐれる。

午前8時、ホテルへ戻って最後にストレッチ。約1・5キロのぜいたくな朝の散歩を終えた。東京から夫婦で訪れた吉清忍さん(62)は「景色もいいし運動にもなってる満足。おなかも減って朝食がおいしくいただけそうです」と笑う。

同ホテル支配人の廣瀬竜太さん(41)によると、14年から毎日無料で実施しているという。雨天時には室内でストレッチ教室を開催。昼はバスで移動して島原半島の観光エリアを歩く2時間コースも。スタッフ6人が毎日交代でガイドを務め、参加者は6千人を超えた。

「お客さまからは、隠れた名所を回れて運動にもなると大変喜ばれ、私も健康診断で褒められました」と、すっかりしたおなかをささる廣瀬さん。今後も続け、ヘルスツーリズムを温泉街の売りにしていきたいと話。何事も継続は力なり。日々の歩みが受賞につながったんだと、参加者の笑顔を見ながら納得した。(中村亮介)

もろびとろーかる